

GRAFIK Eye® QS

取付説明書
使用者保管用

必ずお読みください

QSE-IO コントロールインターフェース
低電圧機器 24 V \approx 200 mA

特徴

QSE-IO

- GRAFIK Eye QS 調光システムに、次のような接点出力つき機器を加えることができます。
 - 動作センサーおよび在室センサー。
 - タイムクロックおよびプッシュ式接点ボタン。
 - 電動プロジェクタースクリーン、天窓、電動カーテン、パーティション。
 - AV 機器。
 - セキュリティシステム。
- リンク上の GRAFIK Eye QS コントロールユニットから QSE-IO を経由し、あるあらゆる組み合わせのシヴォイア QS 電動カーテンをコントロールするようにプログラミングすることができます。

入出力

- 入出力を各 5 つ備えています。
 - 通常開いている接点 (NO) および通常閉じている接点 (NC) のどちらも備えています。
 - 入力側を使用すると、接続機器の接点でコントロールユニットを操作でき、次の各動作が可能になります。
 - シーンの選択。
 - パーティションの状態に合わせたシーンの調整。
 - ゾーンングル及びプリセットレベルの変更
 - 在室の有無により照明をオンまたはオフ。
 - シーケンス、全開オン、コントロールのロック、タイムクロック無効など、特殊機能の実行。
 - 出力側を使用すると、コントロールユニットでシーンを変更することにより次の各動作が可能になります。
 - 出力接点により、接続された機器をコントロール。
 - 各ステータスを接続機器にフィードバック。
 - 入力側を使用すると、接続機器の接点でシヴォイア QS 電動カーテンを操作でき、次の各動作が可能になります。
 - 開閉。
 - アップ、ダウン、ストップ。
 - 3 つのプリセットから 1 つを選択。
 - 出力側を使用すると、QS 電動カーテンのキーパッドまたは GRAFIK Eye QS 電動カーテンのコントロールボタンを押すことにより次の動作が可能になります。
 - その他電動カーテン機器への出力接点を作動させる。
- 7 種類のモードに設定可能です。

- シーン選択コントロール: GRAFIK Eye QS コントロールユニットのリモートコントロールを可能にします。あらゆる 4 シングループを選択でき、システムへシーンのオフをコマンドすることができます。
継続接点出力: 他社製 A/V 機器が、最大 5 つまで接点を使用できます。
瞬時接点出力: 瞬時接点出力が必要なプロジェクタースクリーンなど、他社製機器の使用を可能にします。
- ゾーン切り替えコントロール: GRAFIK Eye QS のゾーンまたはグループを最大で 5 つまで、オフとプリセット設定値を個別に切り替えることができます。アップ/ダウン操作つきゾーン切り替えでは、最大 3 ゾーンまでの切り替えと、最後に切り替えたゾーンのアップ/ダウン操作が可能です。

3. 特殊機能コントロール

- シーケンス: あらかじめ設定したシーン 5 から 16 の照明レベルを、設定されたフェードタイムにて連続再生します。
- ゾーンロック: GRAFIK Eye QS コントロールユニットで設定した照明レベルを誤って変更しないようにロックすることができます。ただし、ロックした状態でも一時的な変更は可能です。
- シーンロック: すべての GRAFIK Eye QS コントロールユニットおよび補助コントロールで選択したシーンや設定された照明レベルを誤って変更しないようにロックすることができます。
- シーン 16 選択: 割り当てた GRAFIK Eye QS コントロールユニットでシーン 16 を強制選択し、シーンをロックすることができます。この接点を解除すると、シーン 16 を選択する前の状態のシーンに戻ります。
- タイムクロック無効 割り当てた GRAFIK Eye QS コントロールユニットの内蔵タイムクロックを無効にします。
- パーティションコントロール: 複数の GRAFIK Eye QS コントロールユニットを単独で (パーティションは閉じた状態)、または連動するように (パーティションは開いた状態)、操作することができます。
 - 在室センサーコントロール
在室センサーによるシーン1/オフ切り替え: 在室センサーにより特定の GRAFIK Eye QS コントロールユニットがオンになり、在室中はシーン変更が可能ないように接点を維持します。
オフ機能 在室センサー: 「手動オン」および「自動オフ」機能。オン操作は手動で行いオフ操作は在室センサーからの信号にて自動オフ。
 - QS 電動カーテンコントロール
電動カーテン入力: GRAFIK Eye QS 電動カーテンのリモートコントロールを可能にします。
電動カーテンプリセット: 電動カーテンの開閉と、3 ポジションのカーテン位置を設定することが可能です。またカーテンの開閉中に接点が作動すると開閉をストップするように設定することもできます。
電動カーテンのアップ/ダウン/ストップ: 電動カーテンの開閉とアップ、ダウン、ストップが可能です。
 - 電動カーテン出力: GRAFIK Eye QS のキーパッドまたは GRAFIK Eye QS 電動カーテンのコントロールボタンを押すことにより、接点を出力させ、他社製の電動カーテンまたはプロジェクタースクリーンを 1 又は 2 グループ制御することができます。
 - 1 グループ は開/閉/ストップコントロールが可能。
 - 2 グループ は開/閉コントロールが可能。
- システム最大値
- システム最大値は 1 リンクにつき 100 ゾーンまでで、QSE-IO は 2 ゾーンとして数えます。
 - システム最大値は 1 リンクにつき機器 100 台までで、QSE-IO は 1 台として数えます。
 - GRAFIK Eye QS コントロールユニットが給電可能な最大値はユニット 1 台につき機器 3 台までで、QSE-IO は 2 台として数えます。
 - 配線の最大長は 610 m。

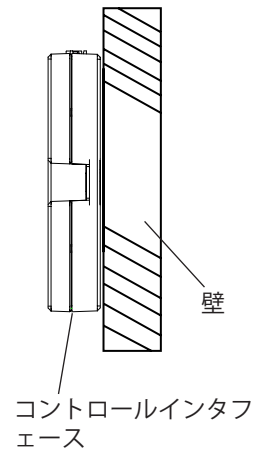
ユニットの取り付け

取り付け方法を次の中から選択します。コントロールインターフェースは手が届き作業ができる場所に取り付けてください。

- A. 壁面取り付け: 取り付け図に示すように、ネジを使用して (製品には含まれていません) コントロールインターフェースを壁に直接取り付けます。取り付ける際は、ケーブルを接続できるよう十分なスペースを確保しておきます。
- B. ラック取り付け: 付属のネジを使用して、本器を LUT-19AV-1U AV ラックに設置します。LUT-19AV-1U には合計 4 台まで設置することができます。
- C. 電線管取り付け: 配線に電線管を使用する場合は LUT-5x10-ENC がご使用いただけます (インターフェース 1 台につき 1 セット)。

注: 接点出力のリレーは作動時に“カチッ”と音が出ます。取り付けはこの音が邪魔にならない場所にしてください。

取り付け図

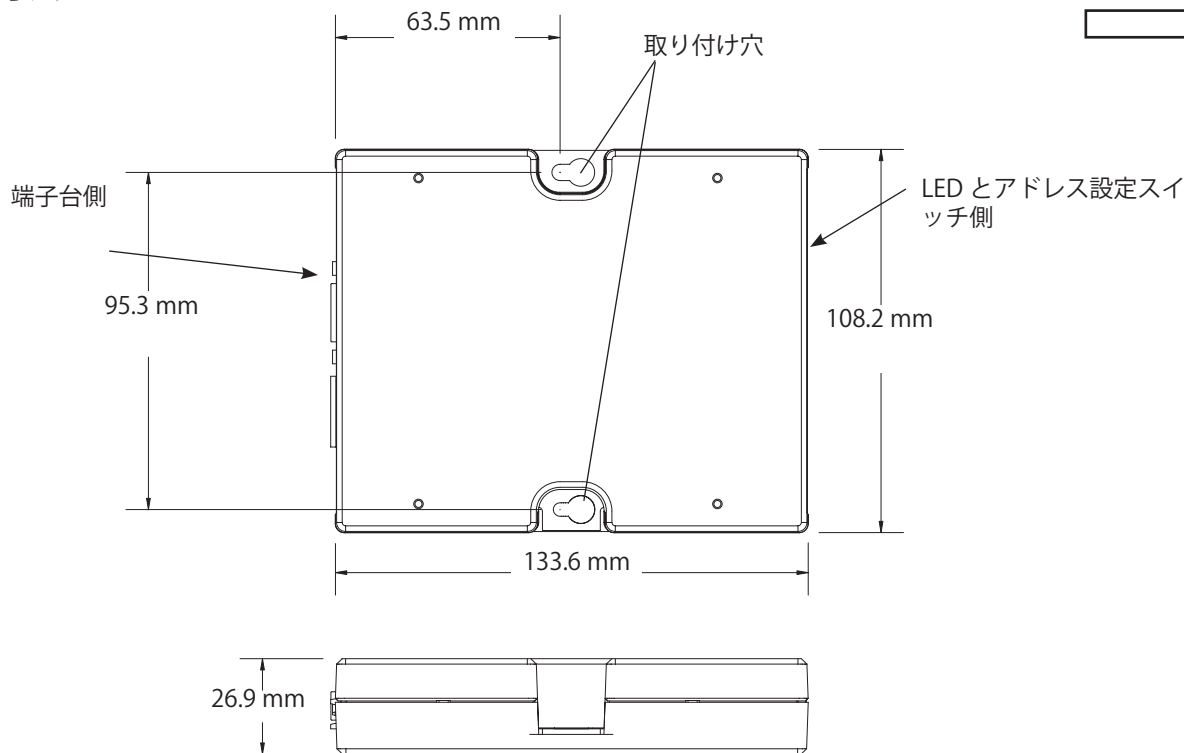


LUT-19AV-1U



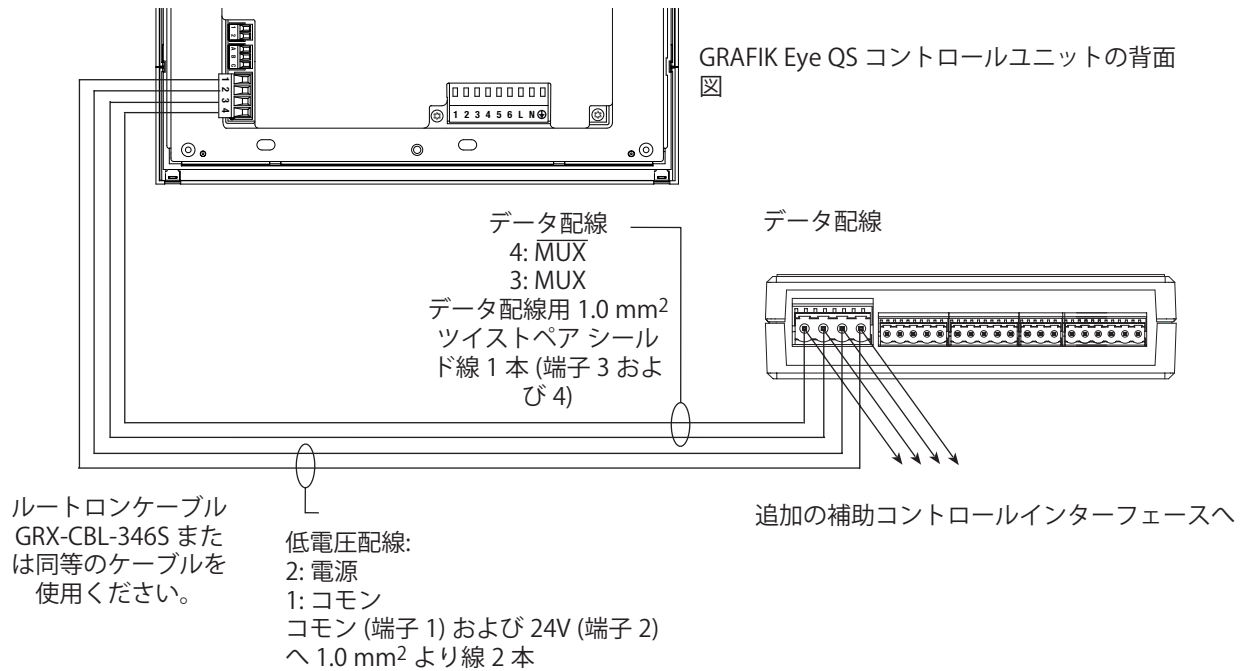
LUT-5x10-ENC

寸法

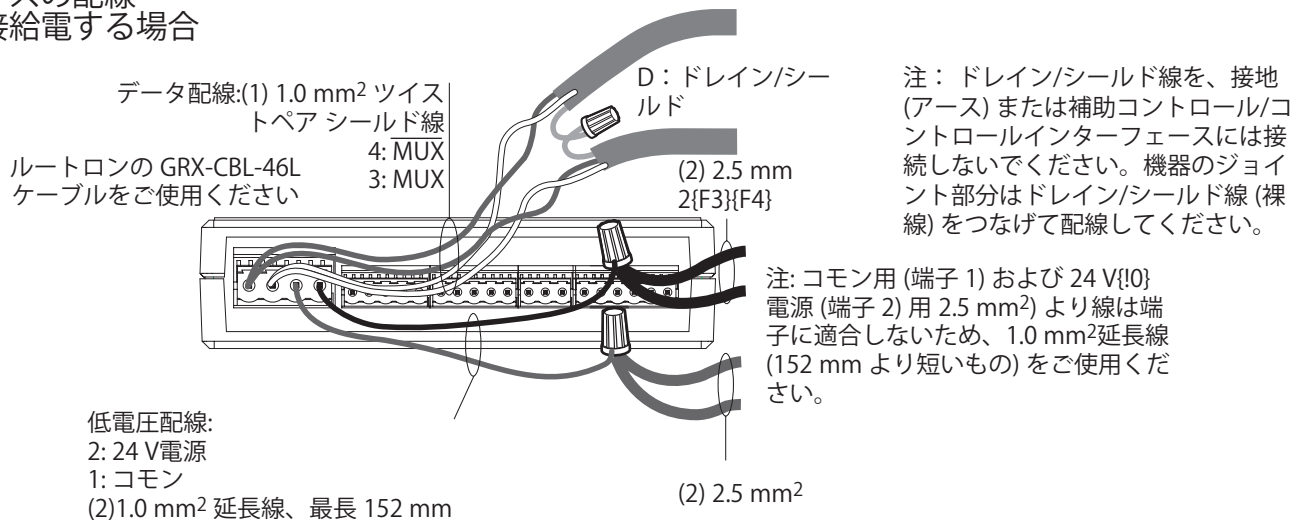


低電圧配線方法 (1 つ選択)

コントロールインターフェースの配線 GRAFIK Eye QS コントロールユニットが給電する場合

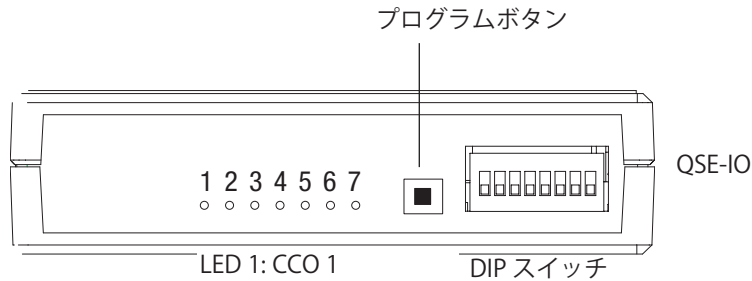


コントロールインターフェースの配線 直接給電する場合



配線の注意点

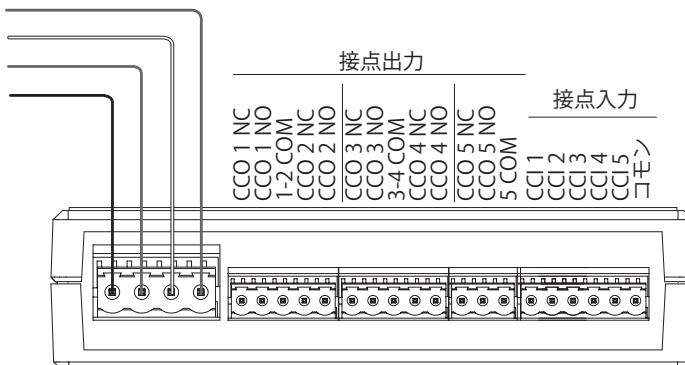
1. 電線の被覆を 10 mm 剥きます。データ線の各端子には 1.0 mm² 電線が 2 本まで接続可能です。
2. 配線図に示すとおり配線してください。配線が正しく完了すると、ステータス LED が 1 秒間隔で点滅します。



- LED 1: CCO 1
 - LED 2: CCO 2
 - LED 3: CCO 3
 - LED 4: CCO 4
 - LED 5: CCO 5
 - LED 6: 使用しません
 - LED 7: ステータス
- 注: CCO NO (通常開いている接点) が閉じた場合に LED が点灯します。通常に作動している間、ステータス LED は 1 秒間隔で点滅します。

データ配線 (コントロールユニット、プロセッサ、補助コントロールへ)

- 4: MUX
- 3: MUX
- 2: 24 V
- 1: コモン



NC = ノーマルクローズ
NO = ノーマルオープン

CCO および CCI コネクターに接続できるのは、0.08~1.5 mm² 線 1 本です。

接点定格

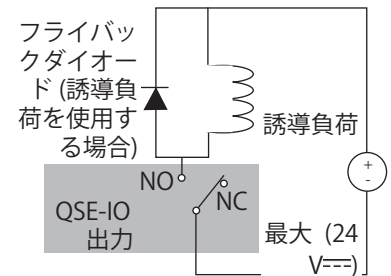
- 入力端子 (5 つ)
- 継続接点入力および瞬時接点入力 (最小パルス時間 0.4 秒) に対応します。
 - オフ状態での漏れ電流は 100 uA 以下
 - 電圧: 最大 24 V。
 - 入力は、ドライ接点、ソリッドステート、オープンコレクター、アクティブ・ロー (NPN)/アクティブ・ハイ (PNP) によるものに限ります。
 - NPN オープンコレクターまたはアクティブ・ローのオン状態電圧は 2 V 以下、シンク電流は 3.0 mA 以下。
 - PNP オープンコレクターまたはアクティブ・ハイのオン状態電圧は 12 V 以上、ソース電流は 3.0 mA 以上。
 - 在室センサーの接続は入力 1 つにつき、並列配線で最高 3 台までとしてください。

出力端子 (5 つ)

- 継続および瞬時 (0.25 秒) 出力接点 (選択可能) を備えています。
- QSE-IO は、リレー、ソレノイド、モーターなど 制限回路のない誘導負荷を制御できる定格に設計されていません。これらの負荷をコントロールするには、フライバックダイオードを使用する必要があります (DC 時のみ)。下図をご覧ください。
- 出力リレーは非ラッチ型 (リレーが閉じた状態で通電がないとリレーが開く) です。

出力定格

供給電圧	抵抗負荷
0 - 24 V _{DC}	1.0 A
0 - 24 V _{DC}	0.5 A



QSE-IO 動作モードおよび DIP スイッチの設定

- シーン選択および特殊モードでは、単体またはグループの GRAFIK Eye QS コントロールユニットを QSE-IO がコントロールするように設定することができます。
- パーティションコントロール、ゾーン切り替えおよび在室センサーモードでは、各 I/O 接点に別々の GRAFIK Eye QS コントロールユニット単体またはグループを割り当てることができます。

設定	DIP スイッチ 4 5 6 7 8	接点により起動するプログラム							出力
		入力1	入力2	入力3	入力4	入力5	入力		
シーン選択		シーン1	シーン2	シーン3	シーン4	シーンオフ			
		シーン5	シーン6	シーン7	シーン8	シーンオフ	維持または 瞬時	継続	
		シーン9	シーン10	シーン11	シーン12	シーンオフ			
		シーン13	シーン14	シーン15	シーン16	シーンオフ			
		シーン1	シーン2	シーン3	シーン4	シーンオフ	維持または 瞬時	瞬時	
		シーン5	シーン6	シーン7	シーン8	シーンオフ			
スペシャル (継続)		シーケ ス5~16	ゾーンロ ック	シーンロ ック	全開オン	タイムクロ ック有効/無効	維持のみ	継続	
スペシャル (瞬時)		シーケ ス5~16	ゾーンロ ック	シーンロ ック	全開オン	タイムクロ ック有効/無効	瞬時のみ		
電動カーテン入力 リセット (作動中の場 合ストップ)		電動カー テン開	電動カー テンプリ セット 1 ¹	電動カー テンプリ セット 2 ¹	電動カー テンプリ セット 3 ¹	電動カー テン閉	維持または瞬時	継続	
電動カーテン入力 リセット (作動中の場 合もストップしない)		電動カー テン開	電動カー テンプリ セット 1 ¹	電動カー テンプリ セット 2 ¹	電動カー テンプリ セット 3 ¹	電動カー テン閉	維持または瞬時	継続	
電動カーテン入力 アップ、ダウン、スト ップ		電動カー テン開	電動カー テンア ップ	電動カー テン ダウン	電動カー テン ストップ	電動カー テン閉	継続	継続	
電動カーテン出力		開 1	ストップ 1	閉 1	開 2	閉 2	維持または瞬時	維持または (1~3、 4~5 がグループ)	
パーティション操作 (継続)		ウォール 1	ウォール 2	ウォール 3	ウォール 4	ウォール 5	瞬時のみ	継続	
パーティション操作 (瞬時)		ウォール 1	ウォール 2	ウォール 3	ウォール 4	ウォール 5	維持のみ	継続	
在室センサー (自動オン、自動オフ)		接点閉によりシーン 1 を起動 接点開によりシーンオフへ移行					維持のみ	継続	
在室センサー (手動オ ン、自動オフ)		接点閉による変化はなし 接点開によりシーンオフへ移行					維持のみ	継続	
ゾーン切り替え (維 持)		切り替え 1 ²	切り替え 2 ²	切り替え 3 ²	切り替え 4 ²	切り替え 5 ²	継続	継続	
ゾーン切り替え (瞬 時)		切り替え 1 ²	切り替え 2 ²	切り替え 3 ²	切り替え 4 ²	切り替え 5 ²	瞬時		
アップ/ダウン操作 つきゾーン切り替え (維持)		切り替え 1 ²	切り替え 2 ²	切り替え 3 ²	アップ ³	ダウン ³	継続		
アップ/ダウン操作 つきゾーン切り替え (瞬時)		切り替え 1 ²	切り替え 2 ²	切り替え 3 ²	アップ ³	ダウン ³	瞬時		

注: 「作動中の場合ストップ」とは、電動カーテンが動いているときに接点入力が閉じると、電動カーテンが動きを止めることを指します。

- スイッチを上げる (オン)
- スイッチを下げる (オフ)

¹ デフォルトで 75%、50%、25% に設定されていますが、この設定値は変更できます。詳細は「プリセット調整モード」を参照してください。

² 割り当てた GRAFIK Eye QS ゾーンの、オフとユーザーが設定したプリセット値を切り替えます。

³ アップ/ダウン操作は、QSE-IO が最後に切り替えた GRAFIK Eye ゾーンに実行されます。

プログラミング方法

QSE-IO コントロールインターフェースは、プログラミングにより指定した機器 (GRAFIK Eye QS、SeeTouch QS、QS 電動カーテン) に従って作動します。各モードにより QSE-IO にプログラミングできる機器が特定されます。

モード	GRAFIK Eye QS	SeeTouch QS	QS 電動カーテン
シーン選択	X		
ゾーン切り替え	X		
スペシャル機能	X		
パーティションコントロール	X		
在室センサー	X		
QS 電動カーテン入力			X
CCO 電動カーテン出力コントロールの AC 電動カーテン	X	X	

QSE-IO の前面にあるプログラムボタンを押すとプログラムモードを開始することができます。各モードのプログラミング方法については以下をご覧ください。

シーン選択

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 5 つが循環点滅します。
2. QSE-IO に GRAFIK Eye QS コントロールユニットを割り当てるには、GRAFIK Eye QS のシーンボタン 1 を 3 秒間押し続けます。この操作を繰り返し、GRAFIK Eye QS コントロールユニットをすべて割り当てます。
3. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

ゾーン切り替え

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 1 が点滅します。
2. ゾーン切り替えの入力 1 が選択されます。次の入力に進むにはプログラムボタンを 1 回押します。前の入力に戻るにはプログラムボタンを 2 回押します。
3. 選択した QSE-IO の入力へゾーンを割り当て、希望のレベルを設定するには、GRAFIK Eye QS コントロールユニットのアップ・ダウンボタンを使用します。アップ・ダウンボタンを同時に押し離すと、そのゾーンを QSE-IO の選択した入力に割り当てることができます。選択した入力で切り替えるその他のゾーンにも (同じまたはシステム内の別の GRAFIK Eye QS コントロールユニットで) この手順を繰り返します。ゾーンの割り当てを解除するには、アップ・ダウンボタンを同時に押し離します。
4. QSE-IO のすべてのゾーン切り替え入力手順 2 および 3 を繰り返します。
5. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

スペシャル機能

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 5 つが循環点滅します。
2. QSE-IO に GRAFIK Eye QS コントロールユニットを割り当てるには、GRAFIK Eye QS のシーンボタン 1 を 3 秒間押し続けます。この操作を繰り返し、GRAFIK Eye QS コントロールユニットをすべて割り当てます。
3. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミング

モードが終了します。

パーティションコントロール

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 1 が点滅します。
2. ウォール 1 が選択されます。次のウォールに進むにはプログラムボタンを 1 回押します。前のウォールに戻るにはプログラムボタンを 2 回押します。
3. 希望のウォールが選択され、QSE-IO に GRAFIK Eye QS をそのウォールに割り当てるには、GRAFIK Eye QS のシーンボタン 1 を 3 秒間押し続けます。そのウォールに割り当てる GRAFIK Eye QS コントロールユニットすべてでこの手順を繰り返します。そのウォールに割り当てられたコントロールユニットはウォールが開くと同時に作動します。
4. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

在室センサーコントロール

注: 複数の在室センサーが同じスペースをコントロールするようにプログラミングされている場合、最初のセンサーが作動すると照明が点灯し、すべてのセンサーが不在を認識すると消灯します。

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 1 が点滅します。
2. 入力 1 (在室センサー 1) が選択されます。次の在室センサーに進むにはプログラムボタンを 1 回押します。前の在室センサーに戻るにはプログラムボタンを 2 回押します。
3. 希望の在室センサーが選択され、GRAFIK Eye QS をそのセンサーに割り当てるには、GRAFIK Eye QS のシーンボタン 1 を 3 秒間押し続けます。その在室センサーに割り当てる GRAFIK Eye QS コントロールユニットすべてでこの手順を繰り返します。その在室センサーが作動した際に連動させるコントロールユニットはすべて、そのセンサーに割り当てられている必要があります。
4. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

QS 電動カーテン入力

1. プログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、出力 LED 1 および 5 が点滅します。DIP スイッチ 1 が下がっている (オフ) ことを確認してください。
2. その時点で QSE-IO に割り当てられている電動カーテンは限界の位置まで閉じ、電動カーテンのコントロールボタンに割り当てられていないカーテンは最大位置まで開きます。
3. 電動カーテンを選択するには、プログラムボタンを押します。選択されたカーテンは上下に動きます。次のカーテンに進むにはプログラムボタンをもう 1 回押します。前のカーテンに戻るにはプログラムボタンを 2 回押します。
4. 希望の電動カーテンを選択したら、プログラムボタンを 2 秒間押し続けると、QSE-IO への割り当て (割り当てられていない場合)、または割り当て解除ができます。ボタンを離すと、5 つの LED が 3 秒間点滅し、正しく割り当てられたことを示します。
5. 割り当てるカーテンがすべて最大位置まで閉じ、割り当てを解除するカーテンが最大位置まで開いているときに、プログラムボタンを 10 秒間押し続けると、プログラムモードが終了します。

AC 電動カーテン出力

1. QS 電動カーテンのキーパッドまたは GRAFIK Eye QS コントロールユニットのコントロールボタン列にある開閉ボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、QSE-IO の LED が消えます。
2. 電動カーテンのキーパッドで操作する QSE-IO のプログラムボタンを 1 回押すと、カーテングループ 1 を (LED 1~3 が点滅)、2 回押すとカーテングループ 2 (LED 4~5 が点滅) を割り当てることができます。
3. 電動カーテングループ 1 の割り当てを解除するには、LED

- 1~3 が点滅を始めたら、プログラムボタンを押します。これで LED の点滅が停止します。電動カーテングループ 2 の割り当てを解除するには、LED 4~5 が点滅を始めたら、プログラムボタンを 2 回押します。これで LED の点滅が停止します。
4. 電動カーテンキーパッドの開閉ボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

プリセット調整モード

(「電動カーテン入力プリセット」モードでのみ使用します。)

QS 電動カーテンで 3 種類のプリセットを設定できます。デフォルトでは次のように設定されています。

プリセット 1: 割り当てられているカーテンがすべて 75% 開く

プリセット 2: 割り当てられているカーテンがすべて 50% 開く

プリセット 3: 割り当てられているカーテンがすべて 25% 開く

このデフォルト設定は次の手順により変更できます。

1. QSE-IO のプログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミングモードが起動し、LED 1 および 5 が点滅を開始します。DIP スイッチ 1 が上がり (オン) DIP スイッチ 2 および 3 が下がっている (オフ) ことを確認します。
2. プリセット 1 が選択されます。次のプリセットに進むにはプログラムボタンを押します。前のプリセットに戻るにはプログラムボタンを 2 回押します。LED 2、3 または 4 が点灯し、どのプリセットが選択されたか (1、2、または 3) を示します。
3. 希望のプリセットが選択されたら、プログラムボタンを 2 秒間押し続けます。割り当てたすべての QS 電動カーテンが選択したプリセットの位置に移動します。

4. プリセットを変更する電動カーテンが選択されるまで、プログラムボタンを繰り返し軽く押します。選択されたカーテンは上下に動きます。
5. 希望のカーテンが動いたら、DIP スイッチ 2 を上げます (オン)。カーテンの動きが停止します。
6. 選択した QS 電動カーテンをそのプリセットで設定する位置に移動させるには、DIP スイッチ 3 を上げ (オン)、プログラムボタンでカーテンを上げるか、または DIP スイッチ 3 を下げ (オフ)、プログラムボタンで QS カーテンを下げます。
7. 別の電動カーテンを調整する場合は、DIP スイッチ 2 を下げます (オフ)。このプリセットで設定するすべての電動カーテンで手順 4~6 を繰り返し、調整します。
8. DIP スイッチ 2 を下げ (オフ)、QSE-IO のプログラムボタンを 3 秒間押し続けて、このプリセットを保存します。別のプリセットを調整する場合は手順 2 に戻ります。
9. プログラムボタンを 10 秒間押し続けると、プログラミングモードが終了します。

注: DIP スイッチ 2 が下がっている (オフ) 間は、プログラムボタンを 10 秒間押し続けると、プリセットが保存されずにプログラミングモードが終了します。

プリセット調整モードの DIP スイッチ一覧表

DIP スイッチの番号			
位置	1	2	3
上がっている	プリセット調整モード	プリセット調整のため特定のカーテンが選択されている	カーテンを上げるためプログラムボタンを押す (DIP スイッチ 1 および 2 は上がっている必要があります)
下がっている	電動カーテン割り当てモード	プリセット調整モードで調整するカーテンを選択する	カーテンを下げるためプログラムボタンを押す (DIP スイッチ 1 および 2 は上がっている必要があります)

スペシャル設定機能について

シーケンス 5~16: 割り当てたコントロールユニットが、シーン 5~16 を、設定したフェードタイムを各シーン間にはさんで連続再生します。

ゾーンロック: どの保存モードが選択されている場合でも、割り当てたコントロールユニットが現在作動させているシーンを、各ゾーンのアップ・ダウンボタンが押されても、変更されないようにロックします。

シーンロック: 割り当てたコントロールユニットの全ボタンを無効にします。

全開オン: 割り当てたコントロールユニットすべてをシーン 16 に移行させ、ボタン、補助コントロール、赤外線コントロールを無効にします。

タイムクロック無効: 割り当てたコントロールユニットの全タイムクロックを無効にします。

インターネット : www.lutron.com/japan
電子メール : asuka@lutron.com

World Headquarters
USA
Lutron Electronics Co., Inc.
7200 Suter Road, Coopersburg,
PA 18036-1299
TEL : +1-610-282-3800
FAX: +1-610-282-1243
Toll-Free 1-888-LUTRON1 (in
USA)
Technical Support: 1-800-523-
9466 (in USA)

North and South America
Technical Hotlines
USA, Canada, Caribbean: +1-
800-523-9466
Mexico: +1-888-235-2910
Central/South America: +1-
610-282-6701

European Headquarters
United Kingdom
Lutron EA Ltd.
6 Sovereign Close, London,
E1W 3JF United Kingdom
TEL: +44-(0)20-7702-0657
FAX: +44-(0)20-7480-6899
FREEPHONE (UK): 0800-282-
107
Technical support: +44-(0)20-
7680-4481

ASIAN Headquarters
Singapore
Lutron GL Ltd.
15 Hoe Chiang Road, #07-03
Euro Asia Centre, Singapore
089316
TEL: +65-6220-4666
FAX: +65-6220-4333

Asia Technical Hotlines
Northern China: 10-800-712-
1536
Southern China: 10-800-120-
1536
Hong Kong: 800-901-849
Indonesia: 001-803-011-3994
日本: ルートロンアスカ株式会
社 〒107-0052 東京都港区赤坂
1-9-20 第16興和ビル南館4階
TEL: 03-5575-8411 FAX: 03-
5575-8420 フリーダイヤル:
0120-083-417
Macau: 0800-401
Singapore: 800-120-4491
Taiwan: 00-801-137-737
Thailand: 001-800-120-665853
Other countries: +65-6220-
4666

Lutron Electronics Co., Inc.

保証ルートロンアスカ株式会社は、その裁量により、ご購入より1年間を限度として、ルートロンアスカ株式会社の責めに帰すべき事由により生じた製造上の欠陥のある本製品またはその部品（付属品を除きます）を修理または交換いたします。修理または交換にあたっては、不具合の生じたユニットをルートロンアスカ株式会社に返送していただく必要があります。詳細については、ルートロンアスカ株式会社までお問い合わせください。本製品の保証は、本条項記載のものに限られません。本製品の保証の対象からは、取り付け、配線、取り外し、誤用、乱用、不十分・不適切な修理に起因する本製品の不具合、本製品の不具合により本製品以外の生命、身体、財産に生じた損害、特別の事情から生じた損害、逸失利益は除かれます。また、ルートロンアスカ株式会社が、本製品の製造上の欠陥に起因して生じた損害につき負う責任は、本製品の購入価格を限度とします。本製品の保証に関する準拠法は、日本法とします。本製品の不具合から生じた紛争については、東京地方裁判所を、第一審における専属的合意管轄裁判所とします。本製品は、以下に示すひとつまたは複数の特許により保護されています。4,797,599; 4,803,380; 4,835,343; 4,893,062; 4,924,151; 5,038,081; 5,191,265; 5,430,356; 5,463,286; 5,530,322; 5,949,200; 5,990,635; 6,091,205; 6,380,692; DES 310,349; DES 311,170; DES311,371; DES 311,382; DES 311,485; DES 311,678; DES 313,738; DES 317,593; DES 335,867; DES 344,264; DES 370,663; DES378,814; D387,736; D412,315; D412,491; D422,567; D436,930; D453,742; D456,783; D461,782 LUTRO

Lutron、Lutron ロゴ、GRAFIK Eye、SeeTouch は Lutron Electronics Co., Inc.の登録商標です。
© 2008 Lutron Electronics Co., Inc



Lutron Electronics Co., Inc.
製作および印刷 : 米国 8/22/08
P/N 040-245 Rev. A

